

I 実践

1 人権意識を養うための啓発活動

ア 人権メッセージへの取組

本校では、例年、県人権啓発推進センター主催の「人権メッセージ」に全校生徒が取り組んでいる。生徒達は、思いやりや命の尊さについて一人一人がそれぞれの言葉で、表現することができた。今年は特に、日常生活の中での言葉遣いやニュース等で目にする人種差別等に対する意見をあげる生徒が多かった。また、悩みを抱えていたり、困っていたりする人への励ましの言葉や、かけられて嬉しかった言葉なども多かった。生徒達自身も様々な場面で相手を思いやることが大切なのだと学ぶことができた。



2 Q-U アンケートや生活アンケートの実施

年に2回 Q-U アンケートを行っており、その結果を分析し、学年で共通理解を図りながら、学級経営に生かしている。また、学校生活やいじめに関するアンケートを毎月実施し、生徒の悩みや不安を把握すると共に面談を行うことで、生徒が安心して学校生活を送れるように個に応じたきめ細やかな対応に繋がった。

3 成果

本校では、例年、高齢者施設での吹奏楽部の演奏や市主催のふれあい運動会でのボランティア活動などを行っている。さまざまな交流や活動を通して、相手を思いやる心や尊重する態度を育むとともに、他者への理解を深めることに力を入れてきた。また、「いのちの教育」講演会や「スマホ・ケータイ安全教室」を催し、自他の生命を尊重する心を育んだり、SNS などインターネット上の人権侵害やトラブルの未然防止など情報モラルの向上を図ったりすることも行ってきた。しかし、今年度は、新型コロナウイルス感染症対策により、学校行事に制約がかかり、充実した活動に繋げることができなかった。生徒達も、行事の少なさを残念がっている様子があった。その中でも人権メッセージや学級で毎日取り組んでいる友達を称賛する活動である、「今日の MVP」発表等で、友人や家族、近隣の人物、さらには世界の人々の気持ちに立って、人権について考える機会を作れたことで生徒の人権意識の涵養を図ることができた。

II 今後の課題

人権教育は、全ての教育活動の中で実践していくことが求められている。今年度は実現できなかったが、来年度は、人権を意識することができる交流会や行事等を、新型コロナウイルス感染症の対策を考慮しながら、企画して実践していきたい。その中で、本校の生徒の人権意識の向上を図っていきたいと考えている。また、各教科の人権を意識した学習内容や活動を実践していきたいと考える。そのために、人権について校内研修に励み、人権についての知識や理解を深め、人権教育に関する指導力の向上を図りたい。

III 人権コーナーの設置の様子

